

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

Email: zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>

論壇

【様変わりする産学連携の取り組み】

千田泰弘JASPA社長

平成7年に科学技術基本法が制定され、これを受けて平成10年に大学等技術移転促進法(所謂TLO法)が制定されたことによって、大学の知財を民間と共同で事業化するというTLOの流れが定着してきたが、民間サイドから見れば必ずしも産学連携のベストの仕組みとは言えない面があった。TLOの考え方は基本的には学からの一方通行の仕組みであることが大きな障壁と指摘されている。

しかし、最近になって、双方向の連携の仕組みを作る大学が出始めている。その嚆矢といえるのが東京大学であり、2005年1月に東京大学産学連携協議会を発足させた。この組織は総長直結の開かれた組織で(誰でも無料で会員になれる)、産学がゼロからプロジェクトを作り、大学の全学部とTLOの活用(株式会社東大TLO)、資金調達(東大エッジキャピタル株式会社)を共同で実施する仕組みである。どのような相談にも乗りたいとしており大きなものはナショナルプロジェクトにまで持ち上げたいとのこと。

また東京工業大学は2005年10月に総合研究院をスタートさせた。院長は学長であり、内部プロセスは異なるものの、考え方や仕組みは東大と同じである。このような仕組みを発足させた大学は全国に7-8校が在るとのこと。

本年3月に秋葉原にオープンした秋葉原UDXビルには多くの大学の産学連携組織が入居しており、**大学の産学連携の仕組みが「町に出て」民間とゼロからのプロジェクトを起こす時代**が始まろうとしている。

産学官交流サロンのコーナー

新サロンの開設

第1回西湘サロン(仮称)開催の案内

川崎、横浜、横須賀と順次開催してきた「個人に着目した常設の産学交流サロン」を、小田原地域に開設します。(神奈川新聞2月8日掲載)

日時:3月13日(月)18:00~

場所:あいおい損保小田原支社3F
(小田原市城山1-6-22瀬戸ビル)

話題提供:「小田原とわが社の経営」

瀬戸建設社長 瀬戸良幸氏

お問合せ等:045-633-5142 異グ連
西湘サロン代表幹事 島津俊之

第13回かわさきサロン

2月28日かわさきサロン開設以来3年目を迎えるにあたり、初心に帰り「サロン開設の提案・狙い」を統轄事務局長の芝忠から解説があり、出席者で意見を交換した。

問合せ:代表幹事・田中繁夫
統轄事務局長・芝忠

横浜サロン

毎月公表開催中であった横浜サロンは、開催場所の問題で中断しており、ご迷惑をお掛けしております。今しばらくお待ちください。

第13回よこすかサロン案内

知らないと損する会社法務問題を、具体的事例を交えて、弁護士から発信していただきます。

テーマ:ビジネスに直結する実践的法律情報 弁護士石下正樹氏

日時:3月22日(水)18:00~

場所:神奈川新聞社横須賀支社5F

お問合せ等:TEL 045-633-5142 異グ連
横須賀サロン代表幹事 八幡敬和
NPO 産業クラスター研究会
鶴野省三 046-836-6785

尾上町サロン(毎月第一、第三金曜開催中)

開催日:毎月第一・第三金曜日pm5:30~ (3月17日、4月7日・21日、5月19日、6月2日・16日)

場 所:神奈川中小企業センタービル 5F 神奈川県異業種グループ連絡会議事務所

会 費:500円(現物支給でも構いませんよ!) 気楽にお出でくださいますよう!!

<おしらせコーナー>

H17年度かながわコンソーシアム事業成果報告会

【日時】平成18年3月15日(水) 13:00~19:00

【場所】神奈川中小企業センター14階多目的ホール

【参加費】無料(交流会参加者は、2000円)

【内容】○基調講演『中小企業の連携と新事業戦略』

東成エレクトロビーム(株)社長 上野 保氏

○新製造、環境、医療福祉、IT 各分科会報告

○交流会

【主催】神奈川中小企業センター交流支援課 045-633-5192

久々の中小企業政策研究会

【日時】平成18年4月20日(木)18:00~20:00

【場所】神奈川中小企業センター13階2会議室

【参加費】1,500円(資料代、会場費)

【内容】『中小企業向けの新しい会社法ポイント』

神奈川中小企業センターBC 相楽守氏

【主催】中小企業団体中央会、雇用能力開発機構、

中小企業家同友会、神奈川異グ連

【問合せ】045-633-5142 代表幹事島津俊之

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

オールディーズ・シニア・クラブ

小林BC

！スローライフ・スロービジネスの活動！

当クラブのミニ・クラブに「住いと街創りクラブ」があります。毎月1回定例会を開催しておりますが、メンバーは自由参加であり、「ボチボチ打合せしながら進めましょう」をモットーに楽しいひと時を過ごしております。そのような雰囲気から「オールディーズ・カフェ」のネーミングをつけて活動しております。

この活動の基本的なスタンスは

＊ **スローライフ・スロービジネス** (がんばらない活力、共に楽しむ)

＊ **楽しく生きて社会参画** (助けあい、学びあい、知りあいの仲間づくり)

です。

構想の一つに「拠点づくり」があります。メンバーが何時でも自由に集まり、談笑し、畑作業や園芸などを楽しめ、ビジネスチャンスがあれば挑戦できる拠点です。横浜近郊の空家又はそれに近い家屋が見つければと願っておりますので、お心当りのある方がいらっしゃれば是非ご一報をお願い致します。

2月10日(金)のオールディーズ・シニア・クラブ定例会でカフェの11月までの開催スケジュールが提示されましたが、3月25・26日に箱根1泊研修会が予定され、仙石原に拠点物件候補を見学したり、会員が勤める山寺を訪問する事になっております。

当ミニ・クラブは古澤会長が主催しておりますので、ご関心のある方は古澤宅 045(641)2851 へ電話下さい。

三浦海洋深層水を楽しむ会

八幡敬和氏

三浦の海洋深層水は何に使われているのか？というご質問が多いが、日本酒、地ビール、ミネラルウォーターと飲み物に事欠かないけれど、残念ながら三浦以外の企業でこれらは製造されており現地を容易に見ることは難しい。地元三浦での利用ということでは、次のような海洋深層水関連商品があることが分かっています。

城ヶ島ラーメン	ダイエットめん—海草美人
まぐろ大根	三浦のまぐろ入りかぶと焼き
深層水豆腐	深層水の地場野菜
深層水の干物	深層水の春キャベツ
深層水の塩辛	深層水の野菜漬物
深層水の食パン	深層水露天風呂
海洋深層水の塩	海洋深層水のうどん

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。

3月定例会は3月14日(火)午後6時半から神奈川県民センターで「新会社法のポイント解説～既存の会社はどう対応する？」のテーマで、当会員の服部和生氏(中央青山監査法人代表社員・公認会計士)にお話をいただきます。

4月定例会は4月11日(火)です。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。 Hda00467@nifty.ne.jp

日韓ビジネス協議会(第61回(2/26)の報告)

高橋BC

- 1、日本企業紹介：インターネット関連サービス・・・(株) オンザマーク I P S 営業部長 志田亀代司氏
ホームページの楽々更新、タイムリーな情報発信できるアクティブホームページおよび電子ファイルの一元管理、更新、閲覧が出来るアクティブファイリングについて大変理解しやすいプレゼンでした。
- 2、世界の中の韓国・・・(財) 韓国貿易協会 東京支部長 金 在淑氏 資料に基づき事務局が代行説明
- 3、韓国・京畿道の中小企業異業種連合会からの調査依頼に関して・・・JASPA(株) 取締役 瀧澤 清氏
韓国京畿道中小企業異業種連合会から塗装関係、金型関係に関して調査依頼があり、種々検討している。
今後も韓国中小企業振興公団を通じて、昨年来浜した企業を中心に依頼事項を検討する予定である。
- 4、今年4月1日施行の改正「高年齢者雇用安定法について」・・・社会保険労務士 たくま事務所 詫摩知子氏
理解をし易くするため多くの資料を作成され、丁寧に改正法の背景、施行後高齢者雇用確保措置、継続雇用制度、賃金を決定する時の公的な給付などについて説明された。

第62回定例会は下記の通り開催致します。

日 時：3月23日(木) pm 3:15～5:15 懇親会は5:15～6:15

場 所：神奈川中小企業センタービル 5階会議室 会 費：1,000円 (懇親会費)

内 容：詳細次第は追って決定しますが、関心ある企業の参加を歓迎致します。

参加時には必ず事務局の高橋まで連絡して下さい。 TEL: 045-311-0094, MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

まんてんプロジェクト、JASPA関係

千田BC(JASPA 社長)

①プロジェクト関係

航空宇宙百貨店(仮称)構想は、秋葉原の新ビルに場所が確保できたので内容の詳細を詰めている。

航空機用電動エンジン開発構想が動き出した。世界で初めての超軽量機用の電動エンジンの開発プロジェクトで、有力大学との共同開発を予定。助成金を獲得すべく取り纏めを行っている。

②商工ジャーナル(日本商工経済研究所)3月号にまんてんプロジェクトの記事が3ページにわたり掲載された

③見学会の開催:会員企業による石川島播磨重工業(株)田無工場の見学会を3月28日(火)に実施する。

④第二回まんてん全国大会の開催決定

第二回まんてん全国大会企画(案) (2006. 3. 1時点)

- 1) 趣 旨: 昨年10月28日に開催した航空宇宙に取り組む全国の中小企業グループを一堂に会するまんてん全国大会が好評だったので、第二回を開催することとした。
- 2) 日 時: **2006年4月13日(木)** 午後1時30分から5時30分まで。その後懇親会
- 3) 場 所: **横浜グランドインターコンチネンタルホテル** 会費: 無料
- 4) 内容(予定、講師等は交渉中)
 - ①基調講演: 石川島播磨重工業(株)、(社)航空宇宙工業会
 - ②事例報告: 岡山県WING. WIN(航空機部品共同受注グループ)
 - ③パネル討論会: 北海道、茨城、新潟、諏訪、岡山、東大阪、広島、九州代表
- 5) 出席予定: 全国から200人
- 6) 懇親会: 全国大会終了後、まんてんグループ会員企業の(株)山内製作所が創立40周年パーティを同じ会場で開催するのでこれに合流して懇談会を行う。
- 7) 協賛等(交渉中): 神奈川県、神奈川異業種グループ連絡協議会、JAXAなど

アルメニア人材育成プロジェクト(反省会) (アルメニアプロジェクト担当事務局 加藤文男)

昨年12月に実施したアルメニア人材育成研修に関する反省会が2月17日独立行政法人国際協力機構(JICA)本部において開催された。JICA本部及びJICA横浜センターと通訳を含めた反省会であったが、異グ連からは、芝理事とプロジェクト事務局を担当した加藤が出席した。冒頭、**JICAより「相手先研修生のニーズに対してマッチングの取れた大変中身の濃い充実した研修であった」との総合評価**があった。

今回の研修には、プロジェクトメンバーがテキストの執筆や講義を担当すると共に、研修生の課題把握の段階から研修生と議論し、問題の解決にあたり、またアクションプラン発表会へも講師陣も多数参加し、質疑応答に対応したことが高く評価されたものである。

今回のアルメニア人材育成研修の運営方法については、JICA横浜センターとして「充実したケース」として、JICA内部の研修会にて事例発表がなされたとのことである。

反省点としては、慣れない研修生にとって朝9時から夕方5時までの講義は、1日の講義時間が長すぎたことである。また、質問に対する回答を翌日の講義の最初に準備し、解決してから次の講義に入るなど工夫が必要との異グ連としての反省事項として伝えた。

また、神奈川中小企業センターや企業訪問を研修期間の早めに実施することで各人の課題とかみ合わせることができ、更に充実した研修になるとの意見交換もなされた。ただ研修生の語学力については、英語の資料ではなくロシア語で資料を準備するなど配慮が必要と思われた。

JICAとしては、本プロジェクトは、3年計画の初年度であり、来年度は、今回と同じ中小企業振興に関する行政担当及びトレーナーなど10名に対する研修が予定されている。来年度の研修についても協力してほしい旨の要請もあった。時期としては、本年度と同様に11月頃になるものと思われる。トレーナーは専門の範囲が広いので共通課題と専門でグループ分けが必要になりそうである。次回の研修は、今回の反省を踏まえ、課題の設定段階から連絡をとり、アルメニアの統計データや体制の実態も資料を持参していただくなどの工夫もしてゆきたい。

今回の研修に当たり、ご多忙にもかかわらずご無理をお願いし、訪問させていただきました企業の皆様及び中小企業関連機関の皆様に深く感謝申し上げます。また、研修企画の段階からご協力いただきました異グ連の皆様、講師を担当いただきました皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

なお、アルメニアプロジェクトに関しては、今年度は今回の報告で終了し、当分の間休会とします。

“県西地域工業展”に思う

芝忠

平成18年(2006)2月24～25日の2日間、県の足柄上合同庁舎で2市8町(小田原市・南足柄市・山北町・箱根町ほか6町)地域の工業展示会が開催された。

地域の人口・工業の事業所数・従業員数・商店数の10年間の動向は表のとおり。十把一絡げに見れば、指標はみな減少していますが、市町村によっては随分違う。商店と工場数は軒並み減少していますが、工業の従業員数は山北町が増加、大井町、箱根町が微増。人口は、西湘地域は全減ですが、足柄上地域では開成町、大井町、南足柄市が増加している。小田急の開成駅開設など近年住宅地として開けつつある。一方、周辺最大都市の小田原市の人口減少問題は深刻で、市が平成17年(2005)7月から「新たに市内に転入する人へ新幹線通勤手当の補助を年間5万円まで支給する」という措置を発表した。

こうした状況下で、東京や横浜・川崎、相模原・厚木地域と対抗して何らかの産業振興策を取ろうという思いが関係団体の中で芽生え、従来の工場誘致策や工業団地づくりだけではなく、地域の市民にも工場の存在を知ってもらおうと3年前から展示会を開催してきた。最初は「講演会とプラス展示会」だったが、2回目からは展示会を主としたものに切り換え、3回目の今回は40小間(前回は27)43企業・機関の出展があった。参加者も前回は1日のみで250人、今回は金・土の2日間で初日320、翌日250の計570人と非常に盛況。会場は会議室でしたが、専門見本市とは異なり、却って手作りの暖かさを感じる展示だった。一角にはお茶席も設けられ休憩を兼ねて、和服美人の接待が受けていた。

昨年度、神奈川県から「工業技術開発大賞」を受賞した二重管熱交換器を開発した西山製作所、異グ連の航空・宇宙開発関連部品調達支援プロジェクトに参加している二階堂製作所とネオテック社、陶磁器やタイル・石などに写真や絵を焼き付ける技術を開発したビクセラ工房など先端技術から、地元の特産物である木工加工企業2社や、酒づくり、畜産品、大山豆腐など地場産業の展示、さらにははからくり人形の実演や会場入り口の「つるしびな」など情緒溢れた展示が工夫され、一般市民にも分かりやすい展示会だった。

地域外からの出展は、横浜・平塚・海老名・厚木などから。また県の産業技術総合研究所や東海大学、地域唯一の小田原城北工業高校も参加。「桜祭りの季節(今年は少し寒いが)に合わせて、一般市民へのPRと出展者企業同志の交流が目的」(渋谷英昭山北工業クラブ事務局長)で、十分成功したと言える。

こうした地域密着型の展示会は、東京の大田や墨田、東大阪など全国に知られた地域の展示会と異なり、それほど目立ちませんがこれからの地域振興、中小企業振興策として極めて重要と思う。従業員が胸をはって地元中小企業に勤めていることを世間に知らせ、企業側も小なりといえども国内外に評価されている技術や経営を実践していることを積極的に公開し、地域の雇用をも維持しているのだと、その存在価値をアピールすることが重要です。現内閣が改革を全面に掲げ、ややもすれば勝ち組、負け組と分けする時代傾向にあることを反省し、地域の中小企業や経済団体・行政等が一体となって盛り上げることが必要。展示会の最後は、経済団体がよくやる1本締めではなく、声楽を得意とする女性が「蛍の光」を歌って締めたそうである。

表 県西地域(2市8町)動向変化

		人口		工業事業所		工業従業者数		商店数	
		2005年	1995年	2004年	1994年	2004年	1994年	2004年	1994年
西湘地域	小田原市	198,792	200,065	338	487	13,758	21,161	2,659	3,258
	箱根町	14,644	18,289	9	13	110	103	305	346
	真鶴町	8,693	9,530	15	27	134	274	113	133
	湯河原町	27,086	28,503	32	34	492	508	386	446
足柄上地域	南足柄市	44,315	43,720	64	73	6,896	8,122	339	410
	中井町	10,193	10,529	45	57	2,693	2,867	86	94
	大井町	17,518	15,570	22	25	575	571	156	163
	松田町	12,499	13,288	22	29	510	756	158	196
	山北町	12,736	14,430	38	50	1,595	1,436	142	177
	開成町	15,049	12,549	28	44	1,364	2,336	143	161
2市8町の合計		361,525	366,473	613	839	28,127	38,134	4,487	5,384
増減		△4,948(1.35%)		△226(27%)		△10,007(26%)		△897(17%)	

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局(広報) t e l : 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2、f a x 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4